



2/27 第54回女性部通常総会開催



1. はじめに



北海道の「YES! Clean」（北のクリーン農産物表示制度・以後YCとする）については、北海道のクリーンな栽培をされた農産物について、その栽培方法などを分かり易く表示することにより、北海道農産物の優れた点をアピールする取り組みで、平成12年2月から取り組みが開始しております。

平成24年度現在、登録集団は174団体、うち「米」については64団体が登録されており、JA今金町については、20年度に「JA今金クリーン米研究会」として登録されております。

近年、消費者の「あんぜんあんしん」指向が高まり、また、大震災以降さらにその指向が強まるなか、JA今金町における「YC米」の取組拡大については、先見性が高く・先進的な取り組みであり、ホクレンとしてもJAと連携のうえ、生販一体となつた取り組みを行ってまいります。

2. 販売の状況について



「YC」については、北海道独自の取り組みであり、現段階で全国に広く認知されているとはいえず、また、生産面においてもまだ一部の取り組みに留まっております。（24年産：YC米8,676ha、農薬節減米398ha、特別栽培米122ha）YC米の販売においては、「生協」「こだわりの玄米販売店」「あぐり倶楽部（ホクレン）」などを中心に指定をいただいておりますが、まだまだ認知度向上および販路拡大を図っていく必要があります。現段階の課題ポイントとは、次の通りとなっている。

①『量』の確保
↓個人の取り組みではなく、組織での取り組みとする必要

②『食味』の安定性
↓栽培面（YC）だけで買ってくれる消費者は少ない。食味安定の必要性

《期待する効果》
・「今金YC」指定の客を増やすことで安定需要が確保できる

3. 今後の取組について



「価格ありき」の取り組みでは長続きしない。
それぞれが、それぞれの「目的」のため取り組みことを忘れないことが重要。

《目的》
中長期的に「確固たる需要」を確保する。

- 産地指定の拡大（固定需要の確保）
- ガイドライン配分要素への反映（主食面積確保）

↓米余りでも叩かれない米になり得る

- ・他の「北海道なつ」が値下がりしても、『美味しい・あんぜん』が定着すれば、「今金YCなつ」は価格を維持し得る
- ↓「量」だけではなく、「品質」も重要
- ・「YC」を評価して頂ける需要を拡大することで「付加価値販売」につながる。
- ↓加算販売も視野に入れる

《価格》は後からついてくる

現在の需給環境は全国的にはコメ余りの環境にあるが、「北海道米の引き合いが強い（供給＜需要）」、「あんぜんあんしん指向が高まっている」、「きたくりん（空育172号）」など、「あんぜんあんしん」をキーとした「YC」の認知度向上のチャンスです！TPPの動向など、懸念されるべき状況にあります。中長期的に安定的な「需要確保」を第一義として、ポジティブな取り組みを期待しております。

- 固定需要先からの評価確保（付加価値創出）
- クリーン農業の取り組みPR（地域への貢献）
- 《それぞれの役割》
- ・生産者
「YC米」取り組みの仲間作り、生産継続、品質確保
- ↓JAへの安定出荷
- ・JA
適切なRC調製・仕分け、栽培内容の確認・伝達
- ↓ホクレンへの安定出荷
- ・ホクレン
固定的な需要の確保、生産情報の伝達
- ↓安定的な販路確保
- （↓付加価値の創出）



販売課・藤田倫史係長

4・平成25年YC米に向けた取組内容について販売課・藤田倫史係長に聞きました！

Q1. 今金町における昨年のYC米の作付実績、今年度の作付予定はどれくらいですか？

A. 平成24年産YC米の耕作者は53名、作付面積は200ha、平成25年産YC米耕作者は2月末現在で76名、作付面積は380haとなっています。

Q2. YC米の精算はどのような内容ですか？

A. 昨年のYC米は一般米比+150円、高蛋白質米比+100円での精算になりました。

Q3. 昨年と今年で変更点はありませんか？

A. 平成24年と比較して、基幹・臨機登録農薬を半分に減らしました。

Q4. 藤田さんから注意点、お知らせはありますか？

A. YCに取り組むにあたり、記載されている以外の農薬は絶対に使わないで下さい。ご不明な点がありましたら、販売課・藤田までご連絡ください。施設設計については後日お伺い致します。資材課・販売課・経営課で相談のりますのでお気軽にご相談ください。

平成25年産JA今金町Yes！Clean米薬剤(基幹防除)

用途			薬剤名	薬剤成分	成分回数	使用回数	使用方法	使用量	備考				
基幹防除	種子消毒	殺菌	温湯消毒	—	—	1	—	60℃10分間浸漬	機械の使用方法を損種する				
		殺菌	食酢(穀物酢)	酢酸(酸度4.2%)	0		24時間浸漬	50～100倍液で循環催芽	—				
		殺菌	エコホープDJ	トリコデルマトロピリデSKT-1	0		24時間浸漬	200倍/24時間	原則温湯消毒と併用する。				
		殺菌	タフブロック	タロマイセスフラバス SAY-Y-94-01株	0		24時間浸漬	200倍/24時間	原則温湯消毒と併用する。				
	育苗期処理	混合	ファーストオリゼフェルテラ粒剤	クロントラニリポール プロベナゾール	2	1	は種時覆土前	中苗マット:1箱あたり50g 成苗ポット:1箱あたり30g	混合剤「ファーストオリゼフェルテラ」「アブライフェルテラ」の2剤から1剤選択するか、 殺虫剤「アドマイヤー」「ダントツ」の2剤から1剤選択する。 ※は種同時処理を実施する場合、専用の施薬機を用いて適切に処理すること。				
			アブライフェルテラ粒剤	クロントラニリポール チアジニル			は種時覆土前	中苗マット:1箱あたり50g 成苗ポット:1箱あたり30g					
		殺虫	ダントツ水溶剤	クロチアニジン	1		1	箱灌注		中苗マット:1箱あたり500ml/200倍 成苗ポット:1箱あたり300ml/200倍			
			アドマイヤー顆粒水和剤	イミダクロプリド				箱灌注		中苗マット:1箱あたり500ml/500倍 成苗ポット:1箱あたり300ml/500倍			
	雑草防除	一発	メガゼータ1 [※] 粒剤 またはメガゼータフロアブル またはメガゼータジャンボ	プロピリスルフロン ピラクロニル	2	1	散布	1kg/10a(粒) 500ml/10a(FL) 40g×10個/10a(ジャンボ)					
			ヤイバ豆つぶ250	ピリミスルファン フェントラザミド	2	1		散布		250g/10a(粒)			
			イッポン1 [※] 粒剤 またはイッポンフロアブル またはイッポンジャンボ	ピラクロニル プロモブチド ペンシルフロンメチル	3	1		散布		1kg/10a(粒) 500ml/10a(FL) 50g×10個/10a(ジャンボ)			
		本田防除	混合	ダブルカットレボンフロアブル またはダブルカットレボン	カスガマイシン ・トリシクラゾール ・エトフェンブロックス	2	1	散布	8倍100ml/10a(無人ヘリ散布) 1000倍100L/10a(通常散布) 300倍25L/10a(少量散布) 3～4kg/10a(粉剤)	穂ぞろい期までに使用する			
				混合	ビームエイトスタークルゾル またはビームスタークル粉剤5DL	トリシクラゾール ・ジノテフラン	2		1		散布	8倍100ml/10a(無人ヘリ散布) 1000倍100L/10a(通常散布) 250?300倍25L/10a(少量散布) 3～4kg/10a(粉剤)	穂ぞろい期以降に使用する

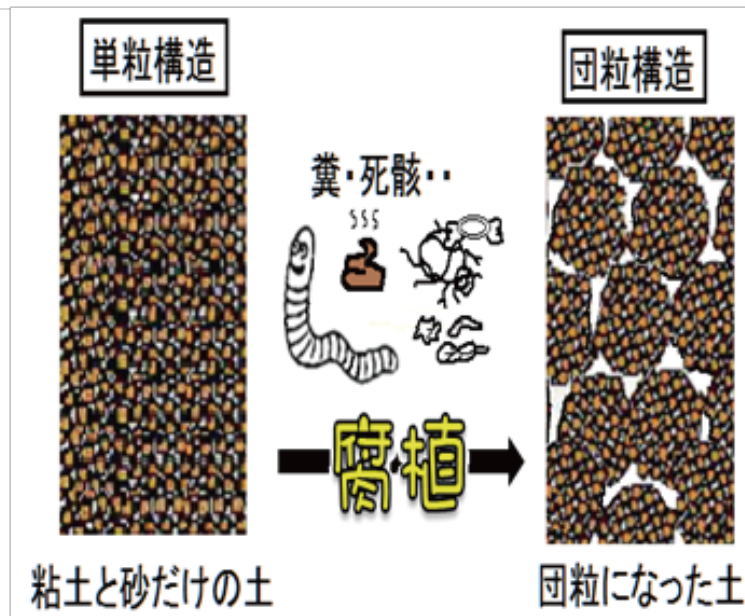
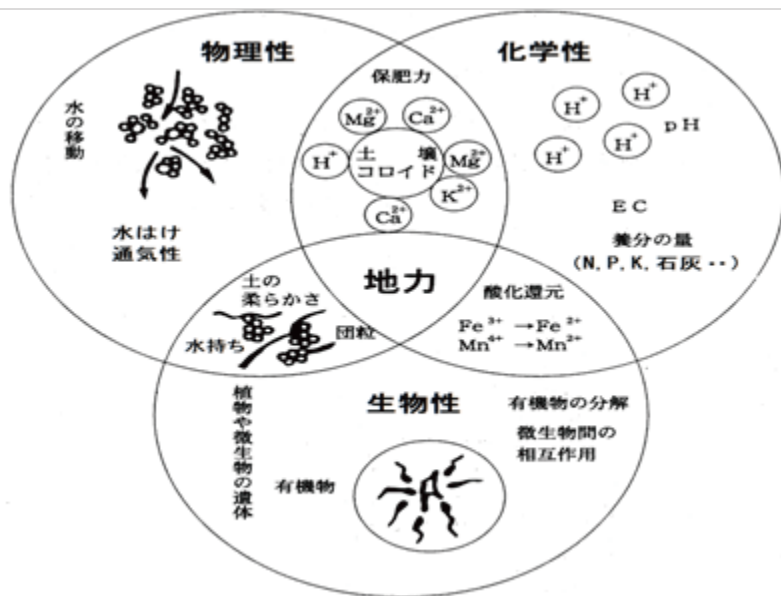
※雑草防除一発剤のイッポンは、3成分なので、ご使用の際はご注意ください。

5・最後に 中野公郎稲作部会長より



YC米栽培を始めて、5年が経過しました。農薬節減米の取組期間を入れると、7年間農薬使用回数を限定した栽培を行っています。私の経験から、YC栽培を実施する際の注意点が2つあります。1つ目が除草対策です。除草剤が限定されるので、確実に一発で効果を発揮させる為にも、代掻き後から除草剤を使用するまでの期間を短くするように作業日程を考える必要があります。2つ目は、有機性窒素を1kg/10a施用する必要がある点です。私は、有機窒素を施用することに抵抗はないのですが、施用方法が問題となっており、現状使用しているペレット状の肥料だと、化成肥料と混ぜて使用することが出来ない(理由は、均一に施肥することが困難)ので、ペレット肥料を施用してから、化成肥料を施用する方法なので、2回圃場に入るようになります。春先の多忙な中では、労働力をさくのが大変です。現在JA今金町のオリジナル銘柄の肥料を作成しており、将来的に一発で施肥を行い、労働力の削減を期待しております。YC栽培を実施するにあたり、問題点もありますが、今金町で主食米面積を増やすため、また、産地として特色をだすため、さらにその結果として、稲作収入を増やすためにも、より多くの人にYC栽培を実施して頂きたいと思っています。

●地力アップで収量確保をしましょう（前編）



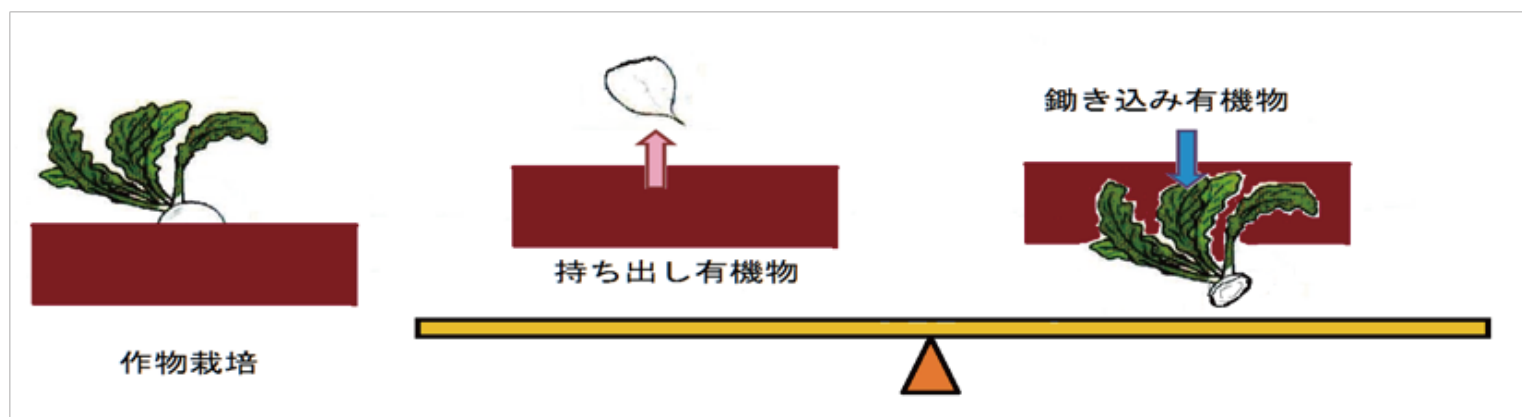
地力アップは、物理性・化学性・生物性を総合的に高める必要があります。今回は、物理性と生物性に関連したテーマで土づくりについてお話しします。

1. 腐植があるから土なんだ！

土は、地球にしか存在しません。土は、砂・粘土などの土壌粒子と動植物の遺体・糞などの腐植が入り、ほこほこの土（団粒構造）を作ります。他の星は、水が使えない、紫外線が強い、強烈な暑さ寒さ…のため、生物が生きられないため土は存在しません。

しかし、土があっても、腐植が減っていくと、土は単粒化（砂漠化・堅密化）し作物栽培に支障がでてきます。団粒化した土は、空気や水分の割合がバランス良いため、土が柔らかく、排水が良好で水持ちも良く作物の根が元気に育つ環境を作ります。

2. 腐植を十分補給してますか？



腐植は、土の中で動植物の遺体が長時間かけて分解し、変質・再合成して安定化したもの。または、土の中に含まれる有機物全てを広く言います。

ほ場の中で作物の有機物は、どのように動いているかを見てみましょう。

(1) 水田における有機物の収支

水稲は、粃として有機物が持ち出されます。そして、稲わらが鋤き込まれ有機物が入りますが 0.05 t が差引で不足となります。



(2) 畑作物・飼料作物における有機物の収支

水稲と同じように有機物の収支を計算しました。収支でマイナスがあった品目については、不足分を堆肥（乾物率 30%）で置き換えて表示しました。

示された有機物が、土から単純に持ち出されているわけではありません。しかし、化学肥料の施肥だけでは、畑の貯えを持ち出すことは容易に想像できます。

		有機物収支（乾物量 t /10a）				同左堆肥 換算（原物 t /10a）
		乾物中 kg/10a	持ち出し	鋤き込み	収支	
秋まき小麦	麦稈	0.82	0.82		▲ 1.37	4.56
	子実	0.55	0.55			
春まき小麦	麦稈	0.59	0.59		▲ 0.92	3.07
	子実	0.33	0.33			
てんさい	茎葉	0.76		0.76	▲ 0.53	1.77
	根	1.29	1.29			
ばれいしょ	塊茎	1.09	1.09		▲ 1.09	3.63
大豆	茎莢	0.25		0.25	0.01	
	子実	0.24	0.24			
小豆	茎莢	0.16		0.16	▲ 0.11	0.35
	子実	0.26	0.26			
牧草		0.68	0.68		▲ 0.68	2.28
デントコーン		1.40	1.40		▲ 1.40	4.67
エン麦		0.50		0.50	0.50	

3. 地力維持の手段

地力（物理性・化学性・生物性）アップには、①有機物の活用が基本になります。

畑では根が自由に伸びる有効土層は、50cm 以上です。この有効土層を柔らかくし排水を改善するには、②心土破碎や暗渠排水が有効です。また、土壌の生物性の改善には③適正輪作が大切です。その他にも、小面積であれば土壌改良資材（ピート、ゼオライト、バーミキュライト等）の活用も考えられます。

近年、干ばつや大雨が見られています。こうした環境の中でも、生産物を安定供給するためには、団粒構造のある土づくりがますます重要です。

次号では、今金町の土壌分析値を基に土壌の化学性をテーマにした土づくりについてお話致します。

ぴりかファーム 「HAL農業賞」 受賞！



HAL農業賞（財）北海道農業企業化研究所）は北海道の農業分野において、地域農業の発展向上をめざして、独創的な農業経営に挑戦し、農業生産技術や加工・流通開発に取り組む法人およびその活動を指導支援する個人・組織に対して贈られる賞です。この度、農業組合法人ぴりかファームが地域貢献賞を受賞されました。また、感謝の気持ちを今金町への寄付で表したいという思いから、2月20日、同法人の末藤春義代表理事より外崎町長へと寄付金が贈られました。

青年部冬期部員 セミナー開催！

セミナー開催！

2月19日、JA今金町にて青年部冬期部員セミナーが開催され、青年部員19名関係機関5名の計24名が参加しました。今回は日本経営協会より石田邦雄氏を講師に招き、「経営担い手塾〜明日の農業を担うあなたへ〜」という題目の下、これから農業経営に携わっていく、または経営を行って



いる若手農業者を対象に経営者として必要な考え方や、これからの農業者に必要な事などお話しして頂きました。講演の中で、実際に自分たちで今までの農業はどういったものだったか、これからの農業には何が必要かを話し合う機会もあり、参加した青年部員達はみな真剣に取り組み、自分たちが考える農業の課題や今後の改善点などを議論していました。石田氏の講演が終了後、JA今金町農業

経営課の佐藤貴弘課長が座長を務め、「作物の農業所得と労働生産性」をテーマに青年部との意見交換会が開催されました。この話の中では、主な作物の所得率、労働時間、限界面積、など具体的な数字をまじえ、「どの作物が一番儲かるのか」や「どの作物が一番楽なのか」などを青年部員に問いかけながら答えを導いていきました。農作業が始まる前の冬期間を利用してスキルアップを図れました。

松山北部青年農業者 学習交流会開催！

学習交流会開催！

2月15日、今金町民センターにて「松山北部青年農業者学習交流会2013」が開催されました。当日は天候にも恵まれ、松山管内の若手農業者30名（うち女性12名）、関係機関19名と多くの方が参加していました。今回の研修会では女性に視点を当てた「パートナーシップ経営ってなあに？」家庭と農業は人生の両輪」というテーマの元、北海道女性農業者ネットワーク、きたひとネット、事務局長の中村由美子さんを講師に招き、農業経営に奥さんはもちろん家族が参加する意義や重要性について、また家族が経営に参加する場合に必要な準備や行動などを自身の経験を基にお話頂きました。講演終了後には参加者を6つのグループに分けてグループディスカッションを行い、講演



を聴いて感じた事や普段思っていることなどを話し合いました。今回は女性の視点からみた農家経営について、他の農業者がどんな形で経営を行っているのかなど普段知る機会の少ない話も多く挙がりました。今回の学習交流会は、農家青年と農業女性との交流を通じて農業経営における女性や家族の重要性を改めて知ることの出来る機会となり、今後の農業経営に活かせる有意義な内容でした。

NEXT GENERATION

新世紀の担い手たち

八束地区 野田 直樹さん〔21歳〕

今金町を担う若者達を紹介するコーナー。
第15回目は八束地区の野田 直樹さんをご紹介します。

野田さんは農業大学卒業後就農し、現在は農業を営みながら酪農ヘルパーにも従事しています。地区運動会など地域の活動にも参加し、また今年度は農協青年部にも加入予定とのことでした。これから活躍に期待大です！！



《プロフィール》

野田 直樹（のだ なおき）21歳

北海道立農業大学校卒（就農2年目）

《経営作物》 水稻 馬鈴薯 大豆 小麦 黒牛

《家族構成》 野田 勝則（父）二三子（母）
民雄（祖父）トキ（祖母）

《農業について感じること》

とても大変な仕事だと感じています。365日休み無く働かなくてはならないのでたまには休みも欲しくなります……。

また生き物が相手ですので、自分の予想外の事態が起きることもしばしばです。どんな事態にも対応できるよう、試行錯誤の毎日です。ですが、丹誠込めて世話をした黒牛を通じて、価格や評価など自分が頑張った分だけの結果が出ることの出来る農業は責任があり同時にやりがいも大きい仕事だと感じています。

《趣味》車（いじるのも乗るのも好き）

《休日の過ごし方》

趣味に没頭したり、牛と過ごしたりしています。

《今後の夢》

これから経営者になるためのノウハウを学び、身につけ、地域内で一緒に営農している皆さんや友人、家族など人とのつながりを大切に出来る経営者になる事を目標に、現在の酪農ヘルパーの仕事を一生懸命頑張っていきたいです。また、技術や知識を身につけ、よりよい物を生産できるように毎日農業に取り組んでいきたいと考えてます。

融雪促進で品質収量アップを目指しましょう！！

融雪材

融雪材散布により 10 日程度の融雪が促進されます。定植後の活着、播種後の発芽及び初期生育を促進するために、融雪を促進し地温を高めましょう。水田を乾かすことにより、湛水後の土壌窒素が速やかに出るため初期生育が促進されます。融雪材散布後、20cm 以上の降雪があった場合は、再散布が必要です。



粒状の融雪促進材

防散融雪炭カル

20kg・400kg・500kg

アルカリ

50%



酸度調整された水稻苗床用融雪材

サンアッシュ

20kg

pH

4.5 ～ 5.0



土壌改良材（融雪材を兼ねる）

玄米 600kg/10a 生産するために、ケイ酸は要素量で 100 ～ 120kg 吸収することが健全に育成するのに必要とされています。

ケイ酸資材散布による水稻の効果

- ①茎葉を丈夫にし倒伏を防ぐ
- ②葉鞘褐変や穂の黒色変を低減
- ③葉が直立し受光体勢が良くなる（光合成、登熟の向上）
- ④根腐れや秋落ちの防止
- ⑤収量・品質の向上等、特に低温条件下において重要（白度の向上、低タンパク米生産、不稔歩合の低下）

根の活力を向上させ、耐病性の向上やタンパク値の低減など良食味米生産を目指してケイ酸資材の散布を行いましょう。

北海道施肥ガイドによるケイ酸の土壌診断基準値は 16mg 以上 /100g ですが、良食味米生産のために 20mg/100g を目指しましょう。

ケイ酸 30% を含んだケイ酸補給資材

ケイカル

20kg・500kg

ケイ酸 苦土 アルカリ

30% 1% 45%



ケイカルを粒状化したケイ酸補給資材

粒状ケイカル

20kg・500kg

ケイ酸 苦土 アルカリ

30% 1% 45%



ケイ酸 14% を含んだケイ酸補給資材

ミネカル粒状 2 号

20kg・500kg

ケイ酸 苦土 アルカリ

14% 1.5% 45%



ミネカルを粒状化したケイ酸補給資材
スーパーミネカル粒状 3 号

20kg・500kg

ケイ酸 苦土 アルカリ

13% 1.5% 44%



※融雪効果試験は実証していません